

平成26年10月12日～10月14日 永瀬ダム(高知県 ダム)における洪水調節の効果について

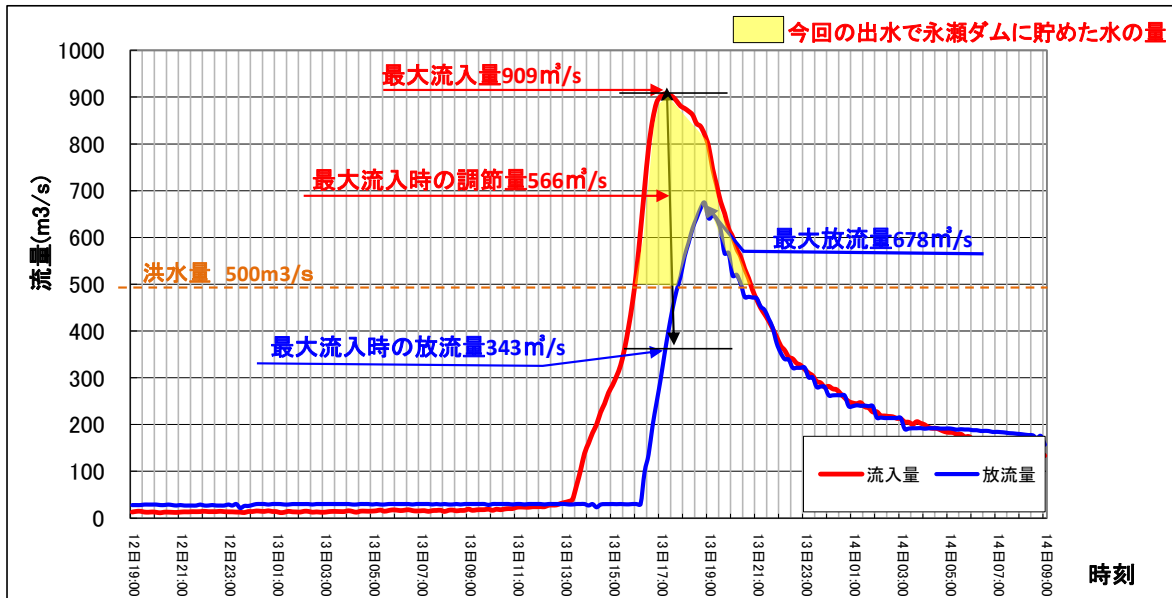
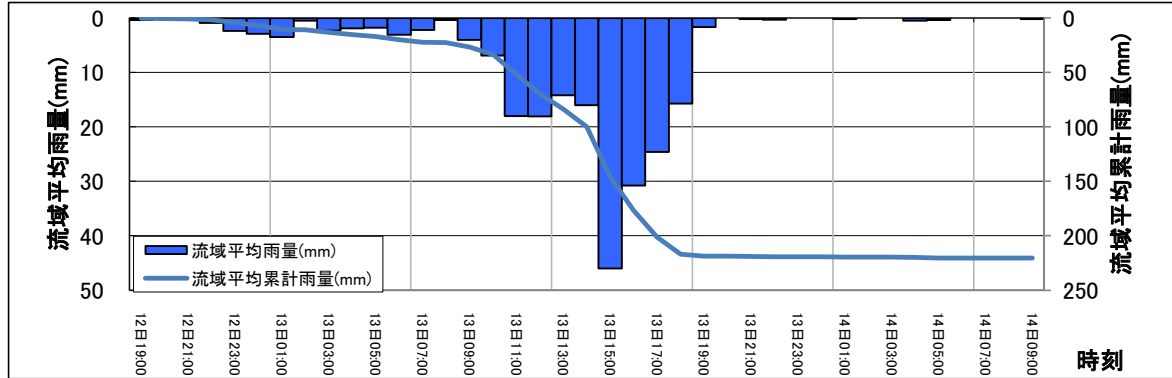
● 洪水概要

大型で強い台風第19号の影響により、永瀬ダム地点で、10月12日19時～10月14日9時にかけて累計177mm(10月13日14～15時に時間最大46mm)の降雨が観測されました。

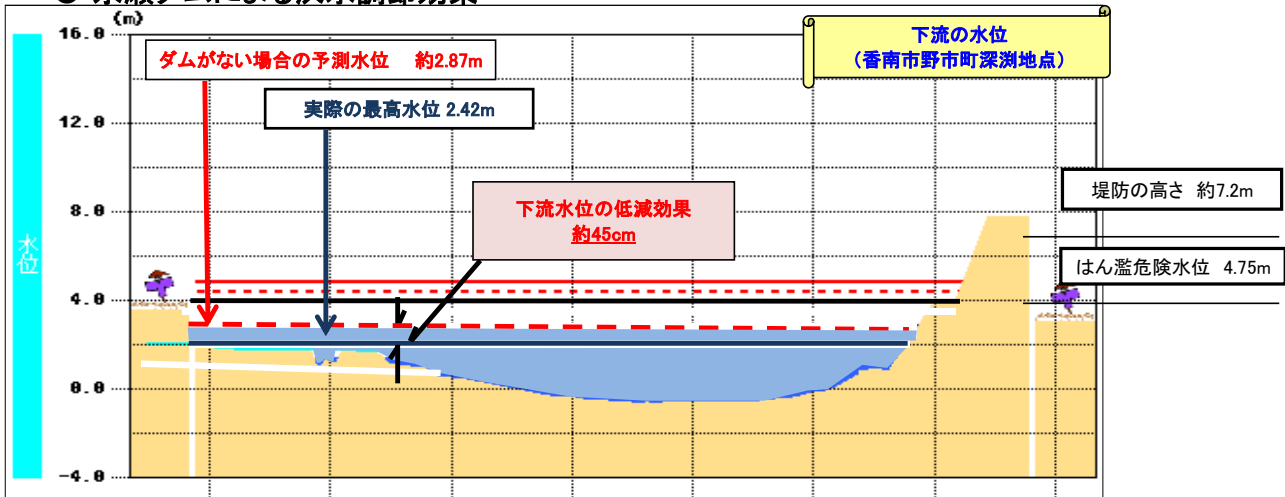
永瀬ダムでは、ダムへの最大流入量毎秒909m³の62%を貯留し、ダムからの放流量を毎秒343m³に低減しました。この操作により、ダム下流の深洲水位観測所において今回の大雨による河川の最高水位を約0.45m低減させたと推定されます。



● 永瀬ダム洪水調節図



● 永瀬ダムによる洪水調節効果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。